

## 乳がんはもっともかかりやすい癌です。 乳がん検診を受けて早期発見を！

2013年度で全国で5年間続いてきた40・45・50・55・60歳の方々に配布される、女性特有のがん検診無料クーポンの制度が終了します。この制度で初めて乳がん検診を受診される市民が増え、発見される乳がん患者さんも増加していましたが、これからは自治体、あるいは各保険組合主体の乳がん検診のみとなります。このクーポン制度が実施されてきた背景には二つの理由があります。一つは日本人の乳がん検診受診率がまだ低いこと、もう一つは乳がん死亡率がいまだに上昇を続け、乳がんにかかる人の数がすべてのがんの中で第1位になっていることがあります。

かつての日本人には少なかった乳がんが年々増えてきているわけは、女性ホルモン(エストロゲン)が深くかかわっています。これは食事中的脂肪摂取量にあわせて増加すると考えられ、脂肪摂取比率の高くなった世代以降に乳がんが多く発症しているのがこれを裏付けています。

乳がんは進行の遅い予後の良いがんですが、早期に発見されないと治癒に導くのが難しいのは他のがんと同じです。たくさんの種類のがんの中では若い世代の40歳から50歳代に発症年齢のピークがあり、この年代の女性は家庭でも社会においても活躍の中心世代です。進行がんで発見され治療が長引くと、家族や職場などに大きな影響を及ぼします。

現在のところ乳がんの有効な予防法はありません。早期発見、早期治療が命を守る唯一の手段です。乳がん検診では、時間を置いた変化が早期発見につながるため、最低でも2年ごとの検診をきちんと受けること、そして以前の写真と比較してもらいながら診断を受けることが重要です。



多摩東部地域産業保健センター 1-0014東京都三鷹市野崎1-7-2

電話番号:0422-47-2155

FAX 番号:0422-48-0982

電子メール: <http://www.mitaka.tokyo.med.or.jp/sanpo/index.html>